

# 平成23年度事業計画・予算案のあらまし

校友会の基盤整備に取り組む上で掲げた2つの方針 ①会員ネットワークをひろげる ②基金・予算の用途を示す に沿って今年度の事業計画・予算案のあらましをお伝えします。

広報	<b>会報の誌面充実に取り組んでいます</b>	予算額 (万円) <b>418</b>
----	-------------------------	------------------------

年に一回発行の会員広報誌「aIT (アルティ)」。今年も11月中にお届けします。昨年一新した誌面デザインを受け継ぎます。新会員の加入と共に年々発行部数が伸び続け、今年は3万部の発行を予定しています。

	予算内訳
広報費	1,863,000
通信費	2,320,000

広報	<b>ホームページからの情報提供に努めています</b>	予算額 (万円) <b>70</b>
----	-----------------------------	-----------------------

校友会のホームページをご存知ですか? 会員 (卒業生・教職員)、準会員 (学生) の展示・イベント活動掲載や、ホームページ上から個人情報の変更登録が行える機能や卒業生リンク集など情報サービスの向上に努めています。多岐にわたる情報を効率よくお伝えできるよう、デザイン・機能面でのマイナーチェンジを図るためメンテナンス費用を計上します (今年度単年事業)。

	予算内訳
通信費 (メンテナンス外部委託費)	300,000
通信費 (情報更新に係る人件費)	400,000

企画	<b>「小品展2011」を開催します</b>	予算額 (万円) <b>245</b>
----	------------------------	------------------------

今年で14回目を迎える恒例のチャリティ展覧会です。12月4日 (日) ~10日 (土) に東京神田「文房堂ギャラリー」で開催予定。若手卒業生を応援する「チャレンジ賞」も併催します。今年は売上金の一部をアートの分野における「東日本大震災」の義援金に使わせていただきます。

	予算内訳
企画運営費	1,505,000
通信費	948,000

企画	<b>「出前アート大学」</b>	予算額 (万円) <b>350</b>
----	------------------	------------------------

今年度は東日本大震災直後の社会的混乱もあり、上半期 (4~9月) の間「休校」といたしました。下半期に3校の実施を予定しています。(予算額は「休校」決定前の金額につき実行額は下方修正される見込みです。)

- 出前アート大学 授業No.039実施予定 (11月) 藤沢市立善行小学校 (神奈川県)
- 出前アート大学 授業No.040実施予定 (2月) 横浜市立鴨志田第一小学校 (神奈川県)
- 出前アート大学 授業No.041実施予定 (3月) 坂戸市立南小学校 (埼玉県)

	予算内訳
企画運営費	3,500,000

総会	<b>「ホームカミングデー2011」の開催</b>	予算額 (万円) <b>332</b>
----	---------------------------	------------------------

年に一度、母校に集う日「ホームカミングデー」。大震災の影響を受け延期となりましたが本日定期総会とガーデン同窓会を開催するはこびとなりました。「卒業生の祭典」の趣向を掲げ卒業生ネットワークを広げるためすべての会員 (※) に案内状をお送りしています (昨年までは原則正会員に限定していました)。そのため通信費が昨年より増額となりました。(※所在判明分)

	予算内訳
総会費	1,841,000
通信費	1,481,250

助成	支部の運営支援を強化します	予算額 (万円)
		130

地域に根ざした活動を行う支部の独自性を尊重し、活動内容に応じて柔軟な資金助成が行えるよう、制度の整備を進めています。助成制度の仕組みづくりについては継続的な協議の場「支部長懇談会」を通じて段階を経ながら整えてゆく方針です。今年度は助成に充てる予算を増額しました。

予算内訳  
助成活動費 1,300,000

助成	卒業生へ芸術活動の奨励金	予算額 (万円)
		100

制作・研究意欲があり、広く社会に向けて発表活動を積極的に取り組んでいる卒業生に向け助成活動を行っています。5名以上の団体を対象とした「**会員グループ支援 (企画助成)**」、個人を対象とした「**小品展チャレンジ賞**」があります。「会員グループ支援」は助成金総額70万円、10月3日から今年度分の応募を受け付けます。「小品展チャレンジ賞」は賞金総額30万円。12月4日 (日) から小品展会場にて投票開始です。いずれの助成制度も校友会ホームページで詳しいご案内をいたします。

予算内訳  
助成活動費 (会員グループ) 700,000  
助成活動費 (小品展「チャレンジ賞」) 300,000

助成	準会員の学生生活応援	予算額 (万円)
		485

校友会では将来の会員となる現役の学生 (=準会員) へ向けての支援も行っています。奨学金制度は、①**私費留学生奨学金** (総額50万円) ②**校友会奨学金** (総額250万円) の2通りあり、いずれも「校友会奨学金基金」を財源としています (今年度の選考は終了しました)。またこれまで新入生にお祝いとして贈っていた「スケッチブック (今年度よりオリジナルデザイン)」に加え卒業生にもお祝いの記念品を贈ることを検討しています。なお、4月に予定していた「平成22年度奨学金成果報告展」は大震災の影響により開催を見合わせました。

予算内訳  
助成活動費 1,720,000  
奨学金 3,130,000

会議	支部との連携を強化します	予算額 (万円)
		204

現在校友会には国内に22、海外に2つの支部があります。会員の海外進出や留学生の増加など卒業生の世界も次第にグローバル化が進みます。毎年1回開催されていた「支部長懇談会」を必要に応じ回数を増やし校友会ネットワーク充実に向けて協議を重ねてゆきたいと考えています。会議招集に伴う経費を増額します。

予算内訳  
総会費 870,000  
交通費 1,170,000

人件費	事務局員を増員します	予算額 (万円)
		928

会員数の増加に伴い事務局機能の強化が求められています。これまで1名体制 (ほかにパートタイマー2名) で臨んでまいりましたが今年度より2名体制 (ほかにパートタイマー1名) としました。さまざまなニーズにスピーディに対応できるよう努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

予算内訳  
事務局員給与 9,280,000